

(仮称) 木更津市火葬場整備運営事業について

市民環境部

1 (仮称) 木更津市火葬場整備運営事業基本計画の策定について

先に実施された(仮称)木更津市火葬場整備運営事業基本計画(案)に関する意見公募の結果などを踏まえ、同基本計画を策定中である。

(1) (仮称) 木更津市火葬場整備運営事業基本計画

策定日(公表日) 平成30年3月28日(水)

(2) 基本計画(案)に係る意見公募の結果について

実施期間 平成30年1月5日(金)～2月5日(月)

提出された意見 9人 35件

※君津市在住・在勤者からの意見提出はなかった。

2 (仮称) 木更津市火葬場整備運営事業の負担割合の合意について

下記、木更津市火葬場整備運営事業の負担割合については、構成4市の担当部課長会議で検討を重ねるとともに、特に本事業の基幹事業となるPFI事業費(施設整備費)及び(管理運営費)の負担割合については、「4市副市長会議」の開催及び4市市長の最終確認を経て合意に至ったところである。

合 意 内 容

No.	事業年度	業 務 名	概算事業費 (千円)	負 担 割 合
1	H29-32	周辺道路整備事業費 ※1	267,800	234-2号線 4市均等 135号線 木更津市単独 136号線 木更津市単独
2	H30	(仮称)木更津市火葬場整備運営事業者選定委員会報酬及び費用弁償	831	4市均等
3	H30	工事用道路調査・設計業務委託 (用地測量) ※2	6,000	木更津市 50% 4市均等 50%
4	H33-48	PFI事業費(施設整備費) ※3	4,572,087	均 等 割 20% 人 口 割 30% 単独整備炉割 50%
5	H33-48	PFI事業費(管理運営費) ※3	2,886,414	均 等 割 20% 利 用 者 割 80%

※1 3市が負担するのは、234-2号線のみとする。対象経費は、測量業務・設計業務・工事費及び事務費(対象経費の3%)とする。

工事用道路(羽鳥野ルート)の用地測量であるが、木更津市都市計画道路の用地買収の業務としても必要になることから、事業費の50%を木更津市が負担し、残りの50%を4市均等で負担する。(木更津市負担 5/8 3市負担 1/8)

※3 PFI事業者の決定をもって事業費が確定する。

今回の合意内容については、3月中に協定を締結する予定である。

3 今後合意すべき費用の負担割合について

(1) 地元対策事業費

火葬場建設予定地の地元対策事業費に係る負担割合については、現在も木更津市波岡区長会及び大久保団地自治連合会と要望に関する協議を重ねているため、「4市担当部課長会議」において進展状況報告を受け、協議を続けていく。

(2) P F I 事業モニタリング

P F I 事業者（S P C）が適切な施設の建設及び健全な運営を継続されているか、専門知識を持つ外部機関による監視を行う必要があり、この費用負担割合についても今後検討していく。

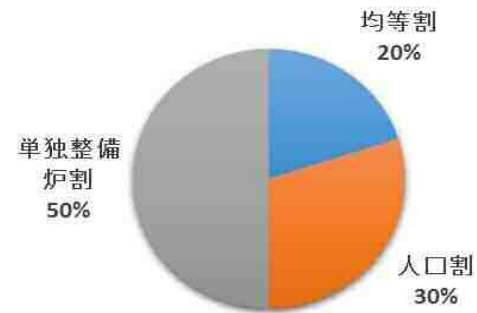
4 各市議会での報告(予定)

木更津市	3月 1日（木）	建設経済常任委員会協議会
	3月12日（月）	広域行政等特別委員会協議会
	3月13日（火）	議員全員協議会
富津市	3月23日（金）	議員全員協議会
袖ヶ浦市	3月27日（火）	議員全員協議会
君津市	3月23日（金）	議会全員協議会

P F I 事業費に係る構成市負担割合

施設整備費（均等割 20%、人口割 30%、単独整備炉割 50%）

施設整備費の構成市負担割合



施設整備費負担割合

各市における火葬需要ピークが異なることから、各市単独で整備するよりも4市共同整備で生じるスケールメリットを最大限反映させるため、単独整備炉割を全体の半分の比率としました。

次に、均等割を管理運営費の負担割合20%に統一することが合理的と判断し、残り30%を人口割としました。

均等割での負担割合



均等割

施設整備するうえで、必要不可欠かつ最低限に当該費用を構成市が公平に負担する割合です。

人口割での負担割合



人口割

応能原則に基づき、人口規模に応じて負担する割合です。

※人口割に用いる人口は施設の供用開始日の属する年度における4月1日現在の住民基本台帳人口による数値で算出します。（グラフは平成30年2月1日現在における4市の住民基本台帳人口を反映したものです。）

単独整備炉割での負担割合



単独整備炉割

応益原則に基づき、基本構想で示した死亡者推計から各市で単独整備する場合の必要火葬炉数と共同整備する場合の火葬炉数を算出し比較することにより各市が享受できるスケールメリットを反映した割合です。

- 4市共同による火葬炉数 10炉
- 各市単独による必要火葬炉数 19炉
- 木更津市 7炉 君津市 5炉
- 富津市 3炉 袖ヶ浦市 4炉

現時点での施設整備費負担率



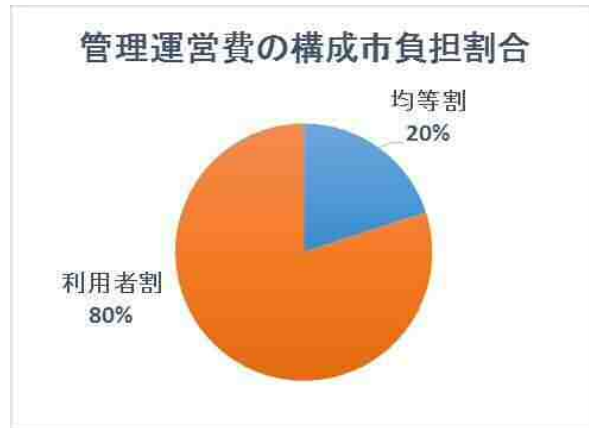
4市で負担する事業費

区分	金額（千円）
施設整備費	4,572,087

構成市が負担する事業費

自治体名	負担額（千円）	負担率
木更津市	1,634,298	35.75%
君津市	1,187,031	25.96%
富津市	778,698	17.03%
袖ヶ浦市	972,060	21.26%

管理運営費（均等割 20%、利用者割 80%）



管理運営費負担割合

構成4市で共同処理している君津中央病院企業団などの施設運営経費の負担割合を参考に、均等割 20%、利用者割 80%としました。



均等割

施設整備するうえで、必要不可欠かつ最低限に当該費用を公平に負担する割合です。

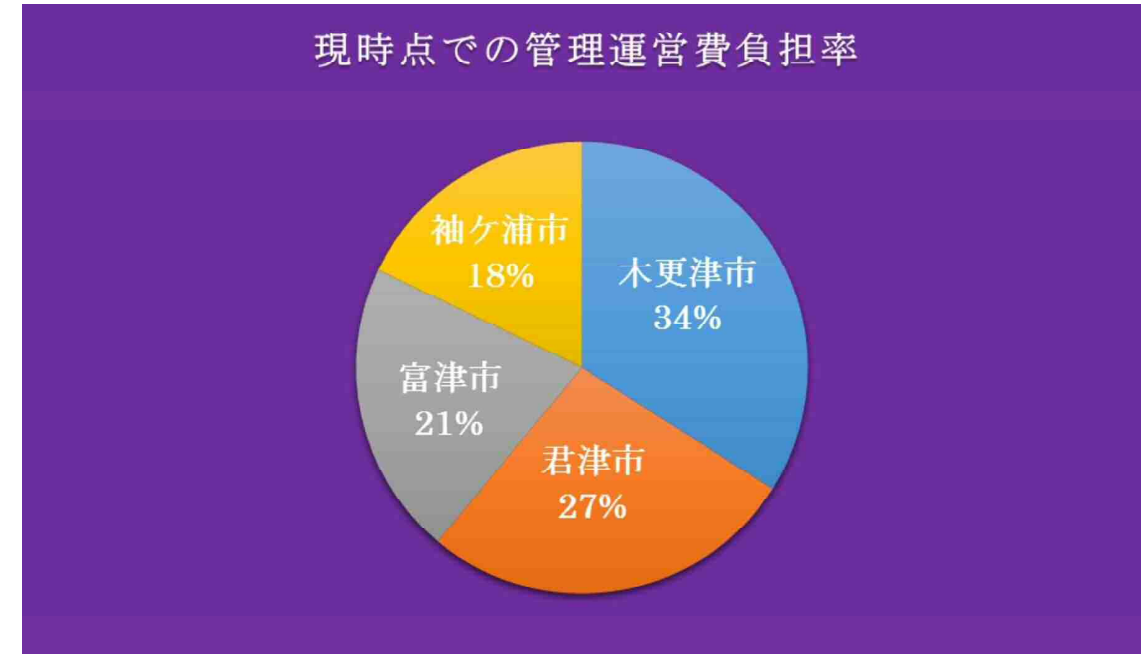


利用者割

応益原則に基づき、施設の利用実績に応じて負担する割合です。

※利用者割に用いる利用者数は施設の利用実績件数により算出します。(グラフは平成 28 年度における4市の住民基本台帳における死亡者数を反映したものです。)

現時点での管理運営費負担率



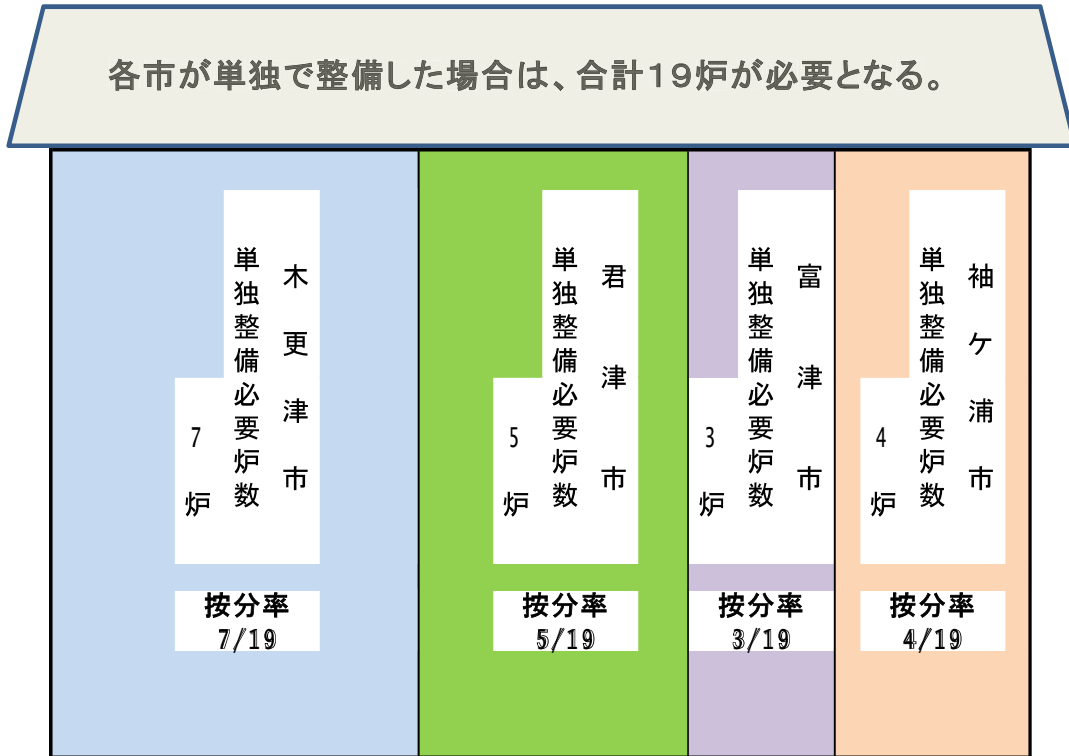
4市で負担する事業費

区分	金額（千円）
管理運営費	2,886,414

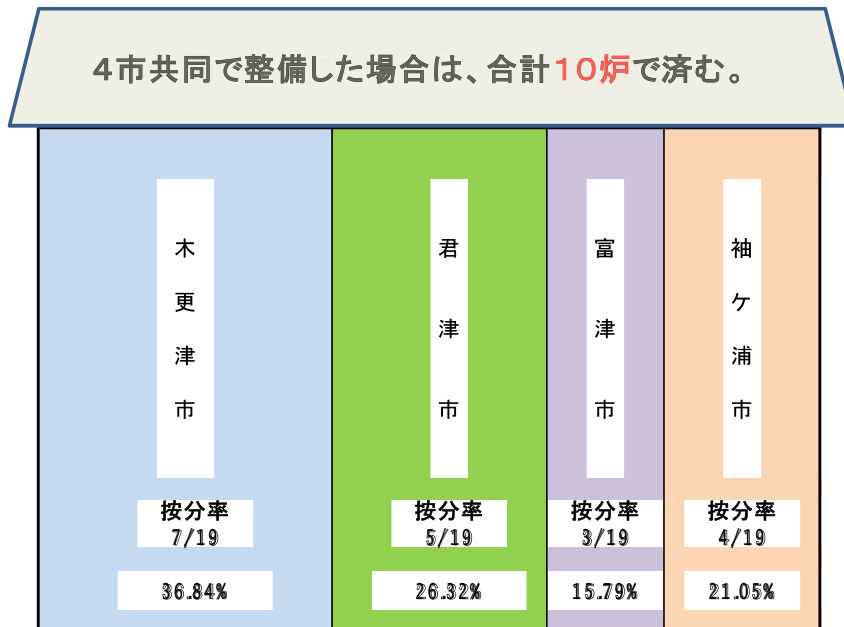
構成市が負担する事業費

自治体名	負担額（千円）	比率
木更津市	981,934	34.02%
君津市	778,876	26.98%
富津市	609,661	21.12%
袖ヶ浦市	515,942	17.87%

単独整備炉割の説明イメージ



各市単独で整備を行った場合の合計額（基本構想時の概算事業費） 7.5億円



※按分率を活かすことで、4市が公平に**スケールメリット**を享受できる。

4市共同で整備した場合（基本構想時の概算事業費） 4.5億円

火葬場周辺道路整備予定図

